

宇治情報

No.96

(体験集通算 446号)

宝 蔵

「神の子の神性」を拝む

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹



秋も一段と深まって、山々の紅葉が見頃となりました。宝蔵会の皆様方におかれましては、平素より宇治別格本山の諸活動にご愛念とご協力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染は、拡大と減少を繰り返して依然高止まりの状況が続いております。一方、本年二月に起こった、ロシアによるウクライナへの侵攻による戦争も、世界各国の首脳が様々な形で協議しておりますが、いまだに終息には至らず先行きが不透明な状況が続いております。この戦争の報道をみておりま

すと、侵略に対する非難の内容

が大半を占めて、『大調和の神示』にあります「争いの念波は神の救いの念波をよう受けぬ」との教えが、あらわれております。相手の悪い面だけを認めて非難するばかりでは、事態はよくなりません。生長の家では、「相手の実相を見よ」というすばらしい教えがあります。『幸福を招く365章』の二四六頁に「如何なる場合も相手の仏性を見よ」と題して次のように示されております。「人の表面の言葉や、行いで、その人の愛を疑ってはならない。現象を見て人を審判してはならないのである。どんな人にも仏性が宿っており、キリストが宿っているのである。たとい誰かがあなたの感情を害することをいおうとも、また行おうとも、相手に対して憤りの感情を起こすよりも、『あの人が幸福になりますように』とか、『あの人の神の子さんがあらわれますように』とか祈ってやる気持ちになる方が、自分の心に平和と幸福とが訪れてくるの（次頁に続く）

である。そして終には相手を感じて、真に相手を親切な人に化することが出来るのである。(後略)

英国の昔話で、あるとき、イングランドに住民が仲のよい平和な村がありました。しかしある小さな事が発端となって、村人達の間で争いが起これり、村のあちこちでたがいに行いがみあい、争いが絶えなくなってきました。村長はこの事で大変悩んでおりましたが、ある日見知らぬ旅人が村を訪れました。村長はその旅人に村の実情を話して、何とかならないだろうか相談しました。すると旅人が一つ方法がありますという次のようなことをいわれました。「じつは、この村に村を救

うメシアが住んでおいでになるんですよ!」と。そして旅人は立ち去りました。村長は驚いて、仲のいい友達にその事をそつと打ち明けました。

その話はたちまち村中に伝わり、互いに相手を見る目が変わってきました。そして人々はお互いに敬意と尊敬の念をいだくようになり、しばらくするとまた元の平和な村にもどってきました。このように神の子の神聖を拝むことはすばらしいことであります。

コロナ禍にありますが神性、仏性の自覚を深め、日頃から聖典・聖經読誦、神想観の実修及び、愛行の実践の三正行に努めて、笑いを忘れず、明るく、元気に過ごしてまいりましょう。

随想

「誠心」

練成部次長

清水志郎

合掌ありがとうございます

今年の三月二十三日に楠本加美野先生が霊界に旅立たれました。それから少し月日が経ち、今改めて先生にご指

導をしていただいた喜びが胸の奥で鳴り響いています。

私が先生にご指導をいただいたのは、最晩年の十年ほどの期間でした。幾度



となく温かいご指導と、又時に大変厳しいご指導をいただきました

した。その中でも、特に心の奥底で永遠の信仰の光として輝いている出来事があります。それは、私が研修生となり、そして特別研修生・パートとなり四年にもなるにも拘わらず、一向に職員にしていただけなかつたときのことです。当時、私は年齢も三十半ばとなり、早く一人前の立場になりたかつたですし、生長の家の信仰を続けていく決意もありましたので、先生に職員にらせてくださいとお願ひに行きました。そして、その事を先生にお伝えしますと、先生はガツと私をにらみつけ一言、「あんたなんかいらないんだ!」と一喝されました。

その一言だけで私は退室し、そのときは非常に大きな心の葛藤がありました。しかし今は、その一喝の言葉の奥に拡がる先生の無限の愛を、神様の真

意を実感しています。「生長の家には、捧げるだけなんだ。真理に捧げるだけなんだ。要求は一切いらないんだ。捧げ切ったときに世界は動くんだ。要求して傷つくのは君なんだ」。いつの間にか自分の生活が中心となり、生長の家の信仰が手段となってしまうとき、先生のこの一喝の言葉が、真実の信仰へと蘇る力を与え続けてくれています。

また、常に悦びの使命感に燃え、躍動せる生命そのままのお姿でご指導され続けていた先生ですが、練成会の座談会でご指導されているお姿は特に印象に残っています。当時、一般練成会では四回ほど座談会があり、私は毎回先生の座談会に参加していました。先生は、いつも丁寧に相談者の話を聴き、そして最後には必ず、「お父さんとお母さんに感謝することが大切だな」と、ご指導されていました。私は何度も参加している内に、悩みを長々と言い続ける相談者の方の話を聴くのがとても苦痛に感じるようになり、なぜ先生はいつもあんなにも丁寧に話を聴かれるのか、なぜすぐにご指導されないのか疑問に思っていました。

しかし今は、あの丁寧に話を聴かれていた先生のお姿こそが、自らの生命を本気で相手の生命と全人生に融け込ませ、誠をもつて慈しみ、生命礼拝・神の子人間の信仰を実践されていたお姿であったのだと感じています。どれほどの人達が、この実相神の子の姿を徹底して拝み続ける祈りによって、救

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

A. I (30代〈女性〉)

「今日行きたいな、でも明日もいく予定だしな」と、ずっと考えていたが、自分の本心に素直に行動してよかったです。

岡田伊都子講師の体験を聴けて良かったです。岡田講師の講話の前に、淨心行用紙に埋まりきらないくらい父への不満を書いていた。

今朝は久しぶりに会った父の姿が不満で、「行つてらっしゃい」と笑顔で

われ導かれて来たことか。私もその一人として、先生への無限の感謝の想いが心の内に溢れます。

これから益々と、善一元の神様の神意に、そして法統継承の永遠の光に不動の中心帰一をし、神の子人間・生命礼拝三昧に邁進させていただきます。

再拝

送り出して上げることが出来る。来ませんでした。淨心行用紙を書きながら、幼い頃から今に至るまで父の愛情の足らなさに自分がどれだけ不満を抱いていたかを知りました。

しかし岡田伊都子講師のご体験を聴きながら、本当はとも愛されていたのだと気づき、こみ上げてくるものがありました。不器用で (6頁に続く)



12月 ご先祖と共に喜びの一日講話プログラム〈会場：大講堂〉

聴講希望者は、三密を避け感染防止対策を行った上、30名まで参加できます。

日付/曜日	テーマ	時 間	講話 及び 行	講 師	テキスト
3日 土	問題解決の鍵	10:20～11:05	開会の祈り・因縁の世界を超越する	榎本 一子	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		11:15～12:00	神を羅針盤とせよ	田野 靖彦	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	小田 榛子	
		13:15～14:00	あなたは人生の主人公	菊間 俊光	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		14:15～15:00	解決できない問題はない！	清水 志郎	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
4日 日	幸せな生き方	15:00～15:35	「蓮華日宝王地観」実修・閉会の祈り	清水 志郎	
		10:20～11:05	開会の祈り・生命礼拝の生活	岡田 浩二	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		11:15～12:00	愛と感謝が幸福の秘訣	千羽 真平	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	悦べば、喜び来たる	清水 志郎	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
		14:00～14:45	心と運命	堀端 芳樹	『生長の家ってどんな教え？』『人生の断想』
10日 土	恐怖を克服して 明るく生きる	14:45～15:20	「感謝講行」実修・閉会の祈り	田野 靖彦	
		10:20～11:05	開会の祈り・悪や不幸は存在しない	清水 志郎	『光明法語』『この星で生きる』
		11:15～12:00	劣等感を打ち破れ～吾は神の子なり～	小野 大作	『光明法語』『この星で生きる』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	藤本 和博	
		13:15～14:00	あなたは必ず幸せになれる	榎本 一子	『光明法語』『この星で生きる』
11日 日	喜びの 先祖・流産児供養	14:15～15:00	ただ使命に邁進せよ	岡田 浩二	『光明法語』『この星で生きる』
		15:00～15:35	「実相円満講行」実修・閉会の祈り	岡田 浩二	
		10:20～11:05	開会の祈り・神の愛はここに	榎本 一子	『光明法語』『この星で生きる』
		11:15～12:00	私を幸せに導いた真理	新宮 一	『光明法語』『この星で生きる』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	体験談	岡田 多美子	
17日 土	祈り合いの神想観	13:15～14:00	輝く未来が待っている	岡田 浩二	『光明法語』『この星で生きる』
		14:15～15:00	喜びの先祖・流産児供養について 閉会の祈り	堀端 芳樹	『聖供養入門』
		10:20～11:05	開会の祈り・決して消えない希望の光	岡田 浩二	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		11:15～12:00	神に祝福されたるわが人生	千羽 真平	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:15	明るく楽しい信仰生活	清水 志郎	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
18日 日	神慮への道	13:15～14:00	祈りは必ず叶えられる	榎本 一子	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		14:15～15:00	「祈り合いの神想観」実修・閉会の祈り	榎本 一子	
		10:20～11:05	開会の祈り・肉体なし！病なし！現象なし！	榎本 一子	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		11:15～12:00	神の子を自覚したとき病気は消える	阿部 秀輝	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		12:00～13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	感謝はすべてを癒す	岡田 伊都子	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
24日 土	大浄心のための 浄心行	14:15～15:00	縦の真理と横の真理	堀端 芳樹	
		15:00～15:35	「如意宝珠観」実修・閉会の祈り	岡田 浩二	『日々の祈り』『いのちを引き出す練成会』
		10:20～11:05	開会の祈り・罪はない！	岡田 浩二	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		11:15～12:00	光を当てたとき、闇は消える～浄心行について	榎本 一子	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		12:00～13:00	浄心行用紙記載・昼食・休憩		食堂休業日となりますので、昼食は各自でご持参ください
		13:00～13:15	体験談	田野 明日香	
25日 日	希望を叶える	13:15～14:00	父母の夢に響かれて	田野 靖彦	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		14:10～15:15	大浄心のための「浄心行」実修・閉会の祈り	清水 志郎	聖経「甘露の法雨」「万物調和六章経』
		10:20～11:05	開会の祈り・神より与えられた真の希望	清水 志郎	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		11:15～12:00	夢は必ず実現する	阿部 秀輝	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		12:00～13:00	昼食・休憩		食堂休業日となりますので、昼食は各自でご持参ください
		13:00～13:15	体験談	高 千穂	
		13:15～14:00	どんな境遇も魂を磨くための砥石	岡田 伊都子	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』
		14:15～15:05	光明の生活法・閉会の祈り	堀端 芳樹	『人類同朋大調和六章経』『希望を叶える365章』

※ 24、25日は食堂休業日となります。昼食はご持参いただくようお願いいたします。

◆ 会場内での注意事項

- ・座席はソーシャルディスタンスを保っています。椅子の移動はご遠慮ください。
- ・至近距離での会話、大声での会話はしないでください。

◆ 食堂使用時の注意事項

(昼食利用の方は事前にご予約ください)

- ・飲食はご遠慮ください。
- ・マイ箸・マイボトル・ハンカチをご持参ください。
- ・1テーブルに1名ずつ座り、皆、同じ方向を向いて食事をしてください。
- ・食堂内での会話はしないでください(黙食)。



会場での講話聴講にぜひお越しください



感染拡大に十分配慮したうえ、講話の聴講を受け付けます。

※参加人数は先着40名までとなっております。

◆お申し込み方法（締切：参加前日まで）

- ・練成部へのお電話(0774-21-2153)にて名前・県名・電話番号・参加希望日等を伝えていただくか、申込フォーム(Facebook及びホームページ、右のQRコードから入れます)にて、必要事項を入力してお申し込みください。

※参加申し込みは参加前日までのべ切となっております。



申込フォーム
QRコード

◆奉納金（昼食代は別途要・ご随意）

大人・・・1,500円／子供(3歳～12歳)・・・750円

◆健康リスクを踏まえ、以下の症状に該当する方の参加は遠慮いただいています

体温37.0度以上の方、咳が出る方、息苦しさ、だるさ、吐き気等がある方

※受付で検温を実施いたします

(体温37.0度以上の方は参加をご遠慮いただきます。)



◆参加に当たっての注意事項

- ・宿泊はできません。
- ・本山内ではマスクを着用してください(一枚50円で受付でも販売しています)。
- ・トイレ使用後は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付、会場、食堂、トイレ等の出入りの際は、手のアルコール消毒をしてください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2m)を守り、握手やハグ等の身体的接触は避けてください。
- ・注意事項を守っていただけない方はお帰りいただく場合がございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



★講話参加の際に電車を利用される方に向けまして、京阪宇治駅とJR宇治駅に 出迎えのバスを手配いたします。

- ・出発時間：京阪宇治駅 9：45 発、JR宇治駅 9：55 発
- ・集合場所：各駅ロータリー

(運転手が「生長の家」のプラカードを持って立っています)

出迎えは上記時間の1回のみであり、各駅時間となりましたら出発いたします。乗車ご希望の方は出発時間までに集合場所に来ていただくようお願いいたします。ぜひご利用ください。

(※道路の混雑具合等でバスが時間より遅れる可能性もございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。)



(3頁から続く) 昔気質な父ですが、物言わずともいつも私たち家族のことを一番に想い、護っていてくれていたこと、いつも信じて見守っていてくれたことなどを思い出してどんどん満たされて行きました。無神論者である父が、こうして宇治に行くことを許して、認めて送り出してくれていることが、もうすでに父の深い愛だったと気付きました。

私に生命を与え、無条件に愛してくださっている父母に深く感謝致します。父との時間を味わい、父の愛情を素直に受けられる私を喜びたいです。

Y. S

(50代)〈女性〉

病気を診断されて、とても不安な毎日を送っていました。講話を聴かせていただき、「人間は神の子」で「この世界は善一元である」ということを再認識させていただきました。何があってもよい展開にしかないと安心した境地で今後の処置・治療をうけられます。有難うございます。

J. R

(60代)〈女性〉

二日間参加させていただきました。スマホで宇治のネットフォーラムはいつも拝見しておりますが、この宇治の会場で講話をお聴き出来て幸福でした。

「一番大切なことは、自分を認めること。自分を神の子として讃嘆し、感謝していくこと。一見悪く見えることも、何かを教えていただいているのである。それらのものは私を害するものではなく、私を幸福に導いてくださり、ひとの気持ちが変わり、慈しむことが出来るようになる善いことなのだ。みんな善一元、神一元であるということ」を教えていただきました。

娘と一緒に参加させていただけて、本当に良かったです。有難うございました。

R. R

(20代)〈女性〉

本日は母に誘われて参加しました。私自身、生まれたころから生長の家



▲クラフト作品

が日常の中にありましたが、普段は神観などの実践はしていま

せん。講話を聴いて、「私は神の子」という言葉は当たり前だと思っていましたが、今までその本当の意味を自分の中で見出せていなかったということがわかりました。今日本当の意味を知って、見える世界が変わりました。まだ全てを理解はできていないと思いますが、これからの人生で深く理解していることを嬉しく思います。

岡田浩二講師の講話にあった「偽物の希望を一番にするとしつくりこない」という言葉と「使命を生きる祈り」が心に残っています。

今仕事で悩んでいるのですが、現象ばかり気にしていたために、今の環境に満足できていなかったからだと気が付きました。自分が神の子であることを実感し、感謝し、本当の希望、自分の使命を自覚して、これからは生きて

いきたいと思いました。

個人指導では、今一番の悩みを聴いていただきました。人にはなかなか言えない思いを出せたこと、聴いていただいたことで、心が落ち着きました。そして、そのままの自分で既に素晴らしいということ、両親に感謝する事を教えていただき、確かに今まで出来ていなかったこと、それを知れたことでこれからほとんど良くなるしかないと思えるようになりました。有難うございました。

K. M

(70代)〈女性〉

私は今夏体調を崩してしまい、毎日辛い日々を過ごしていました。元気が自慢の私でしたが、すっかり自信を失っていました。そうしているとき、「二日講話」に白鳩会の講師さんが参加されたと同じ、「私も是非行きたい!」と思い参加しました。

二日目に榎本講師が講話の中で「全ては自分のなかにある。幸せも、健康も、繁栄も調和もすべて既に中にある」

と話されました。また、「神の子が信じられるようになるには、実践する↓実感(体験)↓信」の巡りで、信を得られ、感謝が湧いてくる。我ならざる力が湧いてくる。神の子を識ることが出来る」と説いてくださり、ハツとした。漠然と「神の子」「神の子」と言っていたのが、そうだったんだ!と。今まで学んでいたことが、一層解かりやすく心の中に入ってきました。そして安心できました。

午前中は清水講師の個人指導を受けました。病気のこと、子供のことで悩んでおりましたが、「暗は出たら消える。過去の業は消えて行く」と教えていただきました。自己を礼拝し、肯定することを教えてくださいました。自分をなかなか肯定できないでいましたが、出てくるものはすべて消えて行っているすがたと捉えて、いつも明るくいられる



▲絵手紙

ように…と改めて思いました。これからの人生感謝でいっぱい、嬉しい心でいっぱいになりたいと強く強く決心しました。有難うございました。

S. U

(50代)〈女性〉

今回娘の勧めで昨日より二日間受けさせていただきました。

五年前娘の問題で、娘と一緒に練成会に参加しました。今回は私の問題で一人で参加させていただきました。

「人間は神の子である」何十回、何百回、何千回と聞いたり、唱えたりしてきました。でも今回は、そうだったんだ、私は神の子だったんだ!と腑に落ちました。

「人生は愛するだけ、愛を与えるために生まれてきた。家庭においては正しさはいらない。自他一体、女性とは与えられていることを喜ぶ。夫婦の間でもお互いを尊敬する心が大切。相手が喜ぶこと、望んでいることは何なのかを常に考えること」。

家庭生活が幸福であるためのことを



沢山学びました。

いつの間にか現象に振り回され、自分勝手

に主人や娘を私の思い通りにしようと思っていました。申し訳なかったと心から思うと、涙が溢れました。

今回学んだことを家庭で実践していきます。

おいしい昼食を、愛念のこもった料理を頂くことが有難く、自然の恵みに、多くの人に支えられていることに改めて気付き、感謝しながら頂きました。以前一緒に練成会に参加した娘に写メを送ると、「美味しそう！宇治の食事って本当においしいよね」と返事が来たので、「又いつか行こうね」と返しました。来られて本当に良かったです。

T. Y (10代)〈男性〉

本日は講話に初めて参加したのです

が、とても貴重な話が聴けたので、充実した一日になりました。

小さい頃から親の影響でいつも訪れていたのですが改めて「人間神の子」は、すごいことだと思いました。この生長の家の教えによって、考え方が大きく変わり、人生においてすべてが豊かになった人の体験を聴き、自分もこの考え方を大切にして、日々を送っていきたくと思いました。

僕自身少しは不安や苦悩はありますが、「神の子の自分は今までも神が導いたのであるから、すべて大正解である」という言葉がとても心に残っていて、これからの自分に役立つと思っています。

今日聴いた考え方は、自分の人生の糧になると感じましたので、これからはそのように考え、前進していきたいです。

E. G (30代)〈女性〉

ある日、とても聡明で、純粋な友人より「いつもお話に出てくる真理の話が



▲「木工式」石上げの御祭り用

切な生ても大それた。を頂きと喜びました。い喜びと幸せ

聴ける神社（宇治別格本山のこと）に行きたい」と一通のメッセージが届きました。宇治もさることながら生長の家に來ることも初めての彼女が、「一日講話」を聴きながら、真剣にメモを取る姿、目をキラキラ輝かせて「すごい！今の自分にピッタリなお話が聴けた」と感動する姿を見て、講師の方々のご講話にある「人間神の子の真理は既にすべての人の中にある」という言葉の意味を教えていただいたように思います。

また、何度も講話を聴かせていただいているはずなのに、今回は、特に「人間神の子」の真理がどれだけ偉大で、絶対に、永遠であるかを感じさせていただきました。

これまで生長の家にふれ、数限りな

長の家を友人に伝え、共有し、感動してもらえたことに形容しがたい喜びと幸福感で一杯です。

人はみな神の子で、兄弟姉妹であり、本来一つの生命であるという事実を、遠慮なく多くの人に伝え、悦びを拡大

宇治別格本山
研修生

「一日講話」感想文

C. H

(50代)〈女性〉

講師の方々の「神の子」のお話を何度も聴くうちに、少しずつ元気が湧いてきました。

今日は鶴岡講師のお話にあった「愛の流れ」「愛の循環」ということについて、しみじみと感じさせられました。

愛は受ける側と与える側との両方が必要であって、自分が誰かの愛を受けたら、今度は自分が誰かに愛を与えて、愛が、深切が、自分と相手の間を何度も行ったり来たりして、その愛の流れ

して行きたいです。

講師の方々、美しく優しい司会者様、おいしい昼食を作ってくださった食堂の皆様、研修生の皆様、本当に有難うございました。

の中に、愛の循環の中に神様がいらっしやるのだ。その愛の流れ全体が神様であり、本当の自分だったんだということ、もう一度思い出しました。

母子カプセルのように家の中で子供と二人きりで過ごしている時間が長く、周りの社会からどこか孤立したような心で十数年過ごしていたように思えます。そんな心で長く生活しているうちに、夫や子供などの家族以外の人との関わりをだんだん遠ざけるようになりました。

住んでいる地域の集まりには一切顔を出さず、子供のPTA活動は本当に

仕方なく出席していました。そのPTA活動も不健康を理由にだんだんと出席しなくなり、人の集まる場所には行きたくないと思うようになりました。少しずつ、自分と自分の家族の生活だけが整っていたらそれでよい、とそんな気持ちになっていたことに気が付いていませんでした。本当は何となく気が付いていましたが、そういう気持ちになっていく自分を自分の力では変えることが出来なくなっていました。

愛は、深切は常に自分と相手との間に流れて循環しているものであって、人と人との間に神様はいらっしやることをもう一度よく思い出して、これからは家族以外の人ともう一度関わっていく努力をしていくことを決意しました。今の私には大変勇気のいることですが、少しずつ一步一步前に進んでい

こうと思います。
有難うございいます。



〈神癒祈願のお礼状〉



癌が消えました

Y. T (女性)

私は二年前に癌の手術を受けて、その後の経過も順調で元気に過ごしていましたが、今年七月に受けた定期健診の結果、再び癌が見つかり、PET検査をしたところ、左右の股関節に癌の転移が見られると言われました。九月にリンパ節を取って、病理検査をしました。

不安な毎日を経過しましたが、たくさんの方々に神癒祈願をしていただき、「大丈夫、大丈夫」と励まされ、神想観、先祖供養、感謝誦行をして、神様に全托し結果を待ちました。

心臓が張り裂ける思いで受診したところ、先生が「癌が無いのよ！確かに

あったのよ！あれは何だったの？不思議ねえ」と言われました。私は嬉しくて先生に「神様にお祈りしていたんです。私は生長の家なんです！皆が祈ってくれてたんです！」と言ってポケットからたくさんの方から頂いた神癒祈願の束を見せました。先生は「良かったね。お祈りが効いたんだ。今後治療はないから、来年の一月にまた検診に来てください」とにっこり話してくれました。

今、元気に明るく楽しい毎日を過ごしています。ありがとうございます。

ベッドから起きられるようになりました

S. Y (女性)

九十歳の母は七月ごろから家事をしている時、よく「しんどい」と言っては休むようになりました。七月下旬に病院で検査をし、肺炎と肺がんが見つかり、それからはトイレ以外はベッドに横たわって寝ていました。少し動くとしんどい」と言って、トイレ以外

は一日中寝たきり状態で、食事も病院で処方された栄養ドリンクとパンや果物をベッドの上で食べていました。動かないので、お腹も空かないようで小食です。

お盆に帰省した時も、ずっと寝たきりの母を見て、神癒祈願をお願いすることにしました。九十歳になる父と二人で住んでいるので、食事のことが気になり毎週末には食料を買い込んで実家に行き、一泊して日曜日に自宅に帰る生活が始まりました。実家まで高速道路を走って一時間かかるのですが、行くたびにベッドに横たわっている母の姿が目に入りませんでした。父の負担が大きいので、施設に入らないかと提案しても、「父のことが心配だから入らない」と断られました。

九月下旬に帰った時、母がパジャマではなく、普段着を着ている姿が目に入り「あれ？」と不思議な感じがしました。そして、その翌日の日曜日は朝から普段着を着ていて、リビングの椅子に座って栗の皮むきをしていました。その日は一日中起きていて、ベッドに入る姿はありませんでした。朝早めに、

道端にある栗の木から栗が落ちてくるので、拾って来て栗を剥いているとのこと。祈願の満願日頃から、母はベッドから起きられるようになったのかと思っています。今では家の前の畑に入って草取りをしたり、白菜やダイコンを植えたり、小豆をもうだりと以前の母に戻っています。

私は神癒祈願の偉大な力に驚くと共に、神に感謝しています。本当にありがとうございました。

次女の就職成就

K. R 〈女性〉

常に真心からの暖かいお祈りを頂き、ありがとうございます。この度は、次女に対して長い間お祈りをいただきありがとうございました。お陰様で、十一月一日付で、リハビリテーション病院の看護部勤務の辞令を頂き、元気に働かせていただいております。これからも本人の実相が顕現し、少しでも人のお役に立つ魂として成長しますように、

私たちも陰ながら祈っています。本当にありがとうございました。

専門学校合格

H. H 〈女性〉

いつもお祈りいただきますこと、心より感謝申し上げます。この度、孫が看護専門学校の入学試験合格の祈願をお願い申し上げました。早速、人型をお送りいただきありがとうございました。本人はもとより、家族皆合格を信じ、学校名と合格を紙に書いて貼って信じるのみでした。学校では校長先生にも面接のご指導を頂き、学校側も推薦入試では初めての難関である進学先だったので、力を入れてくださいました。第二希望など全く考えず、第一希望のみで合格を目指しました。

お陰様で合格通知を頂き、孫はすぐに校長先生やご指導いただいた先生方に早速お礼を申し上げたところ、「よく合格できたね」と喜んでくださいました。春から一人暮らしをしながら、看

護師を目指して頑張ります。ありがとうございました。

新年祭時の

「神癒の社入龍宮幽斎殿行事」と「新春書初め」について

- ① 1月1日(元日)～3日迄、新型コロナウイルス感染防止のため、神想観実修(午前10時、午後1時)は行いません。
- ② 幽斎殿二階のお参りはできます。静かにお祈りください。
- ③ 書初めは、お持ち帰り、または郵送での取扱となります。

◎受付期間 令和4年12月1日～同5年1月31日迄

◎奉納金 200円以上(大人・子ども共通)

◎現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

詳しくはホームページまたはお電話でお問い合わせください。

◆祈願部写経課 電話 0774-21-2305 FAX 0774-21-2167

◆ 12月 宇治別格本山で行われる行事 ◆



- 4日(日)14:00～ 繰り上げ命日供養祭(12月24日～27日分)
 11日(日)10:00～ 自然災害並びに
 世界規模感染慰霊塔月次祭
 13日(火)10:00～ 宝蔵神社月次祭《ライブ配信》
 全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭
 16日(金)15:30～ 宝蔵神社 先祖・流産児供養祭《ライブ配信》
 18日(日)14:00～ 繰り上げ命日供養祭(令和5年1月1日～5日分)
 19日(月)10:00～ 末一稲荷神社月次祭、精霊招魂神社月次祭



※すべて無参列となっております。ご参列はご遠慮ください。

宝蔵神社月次祭、先祖・流産児供養祭はFacebookページ「生長の家宇治別格本山」にてライブ配信いたします。ぜひご覧ください。

☆霊牌を記載していただき、奉納金1柱100円以上を添え、現金書にてお送りください。先祖流産児供養祭で宝蔵神社霊殿に奉安されます。オンラインでご供養ください。

◆ オンラインによる個人指導(無料)を行っております ◆

時間：9:20～12:00、13:00～16:00

※お申し込みにより日程を調節します



担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
 岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補
 (担当講師のご希望はお受けできません)



使用媒体：zoomまたはメッセージ

お申し込み方法：メールアドレス：rensei@uji-sni.jp、またはFacebookページ「生長の家宇治別格本山」まで、メッセージをお願い致します。メッセージにお名前・電話番号・ご希望日時を記入し、ご送信ください。担当講師等の連絡事項を、こちらより返信いたします。



練成会は、令和5年1月まで
 中止が決定しております。
 再開につきましては、ホーム
 ページまたはFacebookで確認
 するか、お電話でお問い
 合わせください。



宗教法人 生長の家 宇治別格本山
 京都府宇治市宇治塔の川 32
 Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。